

■竿掛 長さのバリエーション適応表 ※商品によっては、下記表の竿の長さに相当するアイテムがないものもあります。

商品名	竿掛	長さのバリエーション	竿の長さ																					
			5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	24	25	27	28
普天元 獅子吼	小仕舞 二本物	#1= 820mm	#1+#2+#3=	1,590mm																				
		#2= 510mm	#1+#2=	1,325mm																				
		#3= 270mm	#1+#3=	1,085mm																				
	二本物	#1= 820mm	#1=	820mm	▲	▲																		
		#1= 1,185mm	#1+#2+#3=	2,315mm																				▲
		#2= 740mm	#1+#2=	1,920mm																				
朱紋峰	小仕舞 二本物	#3= 400mm	#1+#3=	1,580mm																				
		#1= 1,185mm	#1=	1,185mm																			▲	▲
		#2= 740mm	#1+#2+#2=	2,655mm																				
	二本物	#3= 400mm	#1+#2+#2+#3=	3,050mm																				
		#1= 820mm	#1+#2+#3=	1,590mm																				
		#2= 510mm	#1+#2=	1,325mm																				
	二本物	#3= 270mm	#1+#3=	1,085mm																				
		#1= 1,195mm	#1=	820mm	▲	▲																		
		#2= 765mm	#1+#2+#3=	2,325mm																				▲
	二本 半物	#3= 375mm	#1+#2=	1,955mm																				
		#1= 1,195mm	#1+#3=	1,565mm																				
		#1= 1,195mm	#1=	1,195mm																				
※普天元 獅子吼/朱紋峰は印籠継ぎ合わせ部の重なり1カ所に 付きマイナス5mmとして計算しています。		#1= 1,195mm	#1+#2+#3+#4=	3,085mm																				
		#2= 765mm	#1+#2+#3=	2,715mm																				
		#3= 765mm	#1+#2+#4=	2,325mm																				
		#4= 375mm	#1+#2(#3)=	1,955mm																				
		#1= 1,195mm	#1+#4=	1,565mm																				
		#1= 1,195mm	#1=	1,195mm																				
		#1= 1,195mm																						
		#1= 1,195mm																						

※普天元 獅子吼/朱紋峰は印籠継ぎ合わせ部の重なり1カ所に  
付きマイナス5mmとして計算しています。

※▲部分は、アフターパーツでご購入いただくと可能となる組み合わせですが、  
パーツの個体差によりコミが合わないことがございますので、

修理依頼としてお近くの釣具店にお預けください。またパーツ調整工賃が  
別途掛かりますので、あらかじめご了承いただけますようお願いいたします。

※普天元 獅子吼 竿掛 二本物の場合、アフターパーツ購入による追い継ぎは  
柔らかめの調子になっているため、威力との組み合わせによっては竿を竿掛の  
真上で受けようとした際、竿が竿掛に当たり、受けられない場合があります。

竿掛けの真上ではなく横で受けける場合は問題ありません。

※刀春は印籠継ぎの隙間は計算していません。

◎印籠継ぎの取り扱いについて

竿掛、玉ノ柄の合わせ方式(継ぎ方)に印籠継ぎを採用している製品があります。これは、継ぎ部に3~8mmの隙間ができるように設計されています。季節や環境の変化による合わせ部(込み部)の膨張、収縮に対応するためです。もちろん、強度は十分ですから使用上に問題はありません。隙間を気にして、無理に差し込むと口割れや抜けなくなるといったトラブルを招きますので、必要以上に差し込まず加減してください。シマノの竿掛け、玉ノ柄は印籠継ぎです。この竿掛けは、小節の風合いを表現するため、急テーパーの太めに仕上げています。